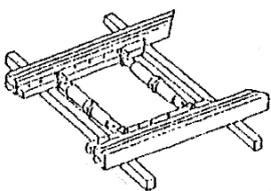


標準作業手順

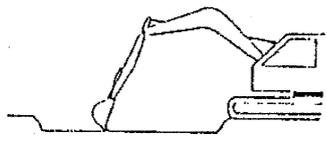
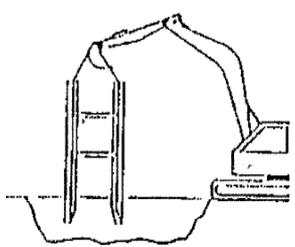
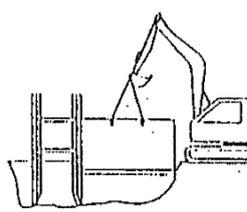
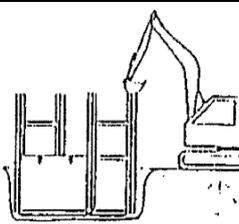
スライドレール方式

(1) 地上組立

順序	組立図	作業内容	注意事項
1		足場の良い平坦な場所を選んで枕木を敷きます。左右2本のスライドレールを掘削幅の寸法にに合わせ平行に並べ、上下に複数の切梁ジャッキを取り付け梯子状に組み立てます。この作業は通常10スパン分11対組み立てます。	切梁ジャッキの取り付け位置は、標準の高さにセットして下さい。

スライドレール方式

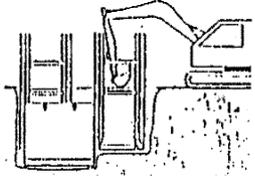
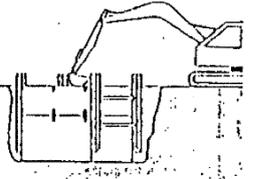
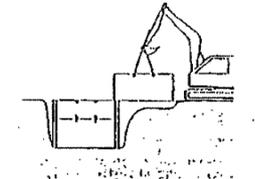
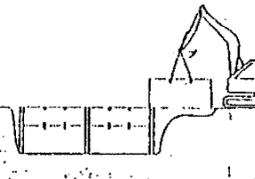
(2) たて込み

順序	組立図	作業内容	注意事項
1		バックホーで掘削深さ50cm程度の予掘りを行って下さい。	予掘りは背面土砂が崩落しない程度にして下さい。
2		地上で組立てた梯子状のスライドレールを吊金具に取り付け2点吊ワイヤーを使用しバックホーで予掘した溝に吊り降ろします。	<p>A) 作業中は運転手と作業員の連繋を計るため合図者を設置し、スライドレールの転倒範囲内に絶対に立ち入らないで下さい。</p> <p>B) 1組目のスライドレールを設置する場合、非常に不安定な状態になりますので2点吊ワイヤーで支えるか、方杖を設けて転倒しないようにして下さい。</p> <p>C) 1組目のたて込みが全てば作業ラインの基本になりますのでスライドレールが自立したら垂直性と掘進方向に対する方向性を確認して下さい。</p>
3		下パネルに吊金具を取り付け2点吊ワイヤーを使用し、バックホーでスライドレールに挿入します。続いて反対側の下パネルを挿入します。	<p>A) 最初のパネルの挿入をスムーズに行うためにはスライドレールが垂直に設置されている事が重要です。また、挿入のための誘導・補助は高所での作業になりますので脚立を用いて行い、スライドレールへの接触は避けて下さい。</p> <p>B) 反対側のパネルを挿入する際、パネルが掘進方向線上にあることを確かめるためゲージ棒を使用して下さい。</p>
4		左右の下パネルに2組目の梯子状にしたスライドレールを挿入し軟合成構造の箱型にします。	パネルと背面土砂に間隔が生じた場合、周辺地盤に影響が出ないよう砂詰め等を行って下さい。

標準作業手順

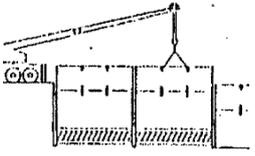
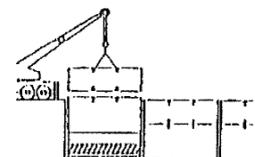
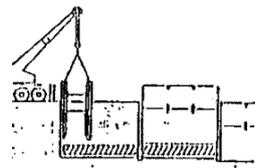
スライドレール方式

(2) たて込み

順序	組立図	作業内容	注意事項
5		箱型にしたパネルの内側をバックホーで深さ30cm～50cm程度を掘削、押し込みの作業を繰り返して、パネルを地表面まで沈下させて下さい。この場合、必ずパネルを押し込みスライドレールを押し込む順序で作業して下さい。	A) 押し込みの作業は打撃による施工を行わないで下さい。 B) 押し込みの作業は左右均等に行い切梁ジャッキの水平角度が5度を超えないように施工してください。 C) パネル・スライドレールを押し込む際にはプロテクターを必ず使用して下さい。
6		地表面まで押し込んだ下パネルに上パネルを継ぎ足し、再び(2)-5の作業を繰り返して所定の深さまで押し込んで下さい。	切梁ジャッキを直接、押し下げたり引上げたりしないで下さい。
7		1組目のスパンを所定の深さに設置したら、再び予掘りを行い1組目のスライドレールに2組目の下パネルを挿入し、次に掘進方向に梯子状にしたスライドレールを挿入して2組目のスパンを作ってください。	
8		引き続き(2)-5、6の作業を繰り返して2組目のスパンも所定の深さに設置して下さい。この作業は通常10スパン延べ30mを設置します。 ※たて込み完了後、掘削構内の整地・基礎打ちを行い、管を布設します。	

標準作業手順

スライドレール方式	(3) 引き抜き
-----------	----------

順序	組立図	作業内容	注意事項
1		<p>管の布設が完了したら、厚さ30cm程度の埋め戻し土砂を投入し、タンパーで締め固めた後、上下のパネルをパネルジョイントで連結させトラッククレーンで引き揚げます。この作業は通常3スパン延べ9mの範囲で行い順次繰り返して下さい。</p>	<p>A) 埋め戻し・引き抜き・締め固めは定められた厚さ毎に繰り返し念入りに施工して下さい。</p> <p>B) 引き抜きが困難な場合は、切梁ジャッキのネジを弛めて土圧を緩和させて下さい。</p>
2		<p>パネルが完全に地表面に出た段階で、上段のパネルを取り外します。順次(3)-1、2の作業を繰り返して1組目のパネルを引き抜いて下さい。</p>	
3		<p>埋め戻しが完了し、1組目のパネルを撤去した後、スライドレールを引き抜きます。引き続き、(3)-1、2、3の作業を繰り返して2組目以降の全パネルとスライドレールを引き抜いて下さい。</p>	<p>地表面に出たパネルは必ず1段毎に切り離して取り外して下さい。</p>

たて込み簡易土留安全点検チェックシート

会社名	
作業所名	
点検者	

スライドレール方式

年 月 日

項目	内容	チェック項目	チェック欄 ✓
パネル		パネルの変形はない	
		パネルの上下連結時、パネルの間に指を入れてはいけない	
		パネルの上下連結時、固定は正しく行われている	
		バケットによる打ち込みは行わない	
		プロテクターは使用している	
スライドレール		レールの変形はない	
		切梁取り付け穴の変形はない	
切梁		切梁取り付け位置・本数は強度計算書と一致している	
		切梁の曲がりはない	
		切梁は正しく装着されている	
		たて込み時、切梁の傾斜は5度以内である	
		たて込み完了後、切梁は平行になっている	
ワイヤー・フック		ワイヤーに変形や腐食はない	
		フックのハズレ止めは正しく機能している	
		掘削機の吊具にハズレ止めは付いている	
施工		予掘りは0.5m～1.0mの範囲で行われている	
		先掘りは30cmを超えてはいけない	
		作業員はたて込み中は掘削溝に入ってはいけない	
		裏込めは行われている	
		パネル間を離して施工してはいけない	
		掘削方向の土砂崩落の恐れがある場合、流砂防止板等を用いている	
		パネルの引き抜き・埋め戻し・締め固めは30cm毎に行われている	
		スライドレールの引き抜きは埋め戻し完了後に行っている	
運搬・保管		荷崩れ防止の処置はされている	
		陸組み後のパネルは転倒防止がなされている	